

令和5年度やちよ男女共同参画プラン懇話会 委員の皆さまからのご意見等について

No.	参照資料	分類	ページ数 (参照箇所)	質問・意見	担当課	担当課意見
1	進捗状況 報告書	意見	P. 3 事業No. 6	<p>10年間の計画期間が終了し、令和3年度からは第2次プランという新たな計画に基づいて、様々な取組を推進していただき、ありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しながらの教室開催はご苦労のあったことと思います。</p> <p>〔目標1〕 共につくり出す「誰もが活躍できる環境」 相談の結果、必要に応じて関係機関につなげている支援、素晴らしいと思います。今後も継続した相談活動よろしくお願いします。</p>	男女共同参画 センター	<p>「女性のための相談業務」につきましては、平成9年から約25年間、悩みを抱える女性への精神的な支援を目的に、傾聴による「女性、こころの悩み電話相談」を行ってまいりました。</p> <p>令和4年度からはより具体的な解決へと導いていくため、カウンセラーの資格を有する女性専門相談員による「女性サポート相談」にリニューアルし、令和5年度も継続して実施しています。</p> <p>相談者自らが問題を解決できるよう支援していく中で、より具体的な解決方法に結びつけていくため、関係機関へつなぐケースが出てきています。</p> <p>今後も、相談員と調整し、相談者に合った対応をしていきたいと考えています。</p>
2	進捗状況 報告書	要望・ 意見	P. 7 事業No. 28 事業No. 29 事業No. 30	<p>〔課題3〕 次世代に向けた意識づくり 「児童・生徒へのジェンダー平等の意識づくり」 「教職員研修の実施」 「個性を伸ばす保育の実践」</p> <p>ジェンダー平等の意識は低年齢から行うことが効果的だと思います。そのように考えると保育園・幼稚園からの教育を望みます。</p> <p>また、効果を上げていくためには、教職員研修の充実が求められます。学校人権教育主任の意識啓発を図る研修の充実と共に、主任の研修による校内における「実践と効果」の報告会が必要かと思います。</p>	子ども保育課 指導課	<p>①指導課から 年2回実施の学校人権教育研修会において、学校人権教育に関わる本市の取組（男女共同参画センターの4コマまんが、性の多様性を認め合い行動するためのガイドライン等）を紹介したり、各校における学校人権教育の取組や次年度への課題等を共有したりするなど、人権意識の啓発を図る研修を工夫しております。</p> <p>また、各校においては、夏の校内研修等を活用し、教職員の人権意識の向上に努めております。</p> <p>②子ども保育課から 保育園におけるジェンダー平等の取組は、毎年、園長会議において、「ジェンダーにとらわれない保育の実践」について、資料を持ち寄り、それぞれが受講した研修や書物をもとに、話し合い、現場で取り組む方針を決めています。</p> <p>例えば、 ○並ぶ・グループ分け・順番等の場面で性別の区分けはしない。 ○色の選定で男の子は青、女の子はピンク、個人のシールについて、男の子は「飛行機」「ライオン」、女の子は「リボン」「うさぎ」など保育士が決めることなく、子どもたちに選ばせる。 ○遊びにおいて、男の子は「車」女の子は「ままごと」などの意識は持たない。 ○男の子だから泣いちゃダメ、女の子だからおとなしくなどといった偏った思考をしない などといったことを保育の現場で実践しています。</p>

No.	参照資料	分類	ページ数 (参照箇所)	質問・意見	担当課	担当課意見
3	進捗状況 報告書	提案	P. 7 事業No. 28	<p>〔課題3〕次世代に向けた意識づくり 「児童・生徒へのジェンダー平等の意識づくり」 4コマまんがを市内全小中学校に！！ 現在，市内小中義務教育学校4校（小2・中2）に掲示されているようですが，全小中学校に配布されてはいかがでしょうか。又，配布にあたっては小中合同の校長会議の席上でお願い依頼する必要がありますが大変効果的です。 （例）市内の多くの小学校で実践している「人権教室」も数年前の校長会議の席上で依頼し，おかげさまで現在も続いています。</p>	男女共同参画 センター	<p>「ナイスさんかく」というオリジナルキャラクターが登場する，令和元年度市民意識調査の結果をわかりやすく解説した4コマまんがを巡回展示しています。5年度も小・中各2校での展示を行っているところで す。 展示に当たっては，教育委員会指導課と調整し，小中学校在学中に1回はマンガを読み考える機会を提供することを目指し，学校担当者と話をしながら進めています。 全校配布や校長会での依頼などを含め，4コマまんがを活用した今後の取組については指導課と協議していきたいと考えています。</p>
4	資料1 「事業進 捗状況一 覧」	意見	P. 1 事業No. 2	<p>〔事業番号2〕女性の政治分野への参画推進</p> <p>中立性という観点から取り組みが難しい分野であることは理解できますが，日本の男女平等が最も達成されていない分野であることを考えると，幅広い世代，特に若い世代に政治に関心を持ってもらえる企画が必要だと思います。</p>	男女共同参画 センター	<p>令和3年度に，若い人たちに市議会議員を身近な仕事として捉えてもらうため，『やちよ ぺあfor young「教えて女性の市議会議員さん！」』を発行し，ホームページ等にも掲載しました。その後も，女性の政治分野への参画推進についての企画を模索してはきましたが，実施にはいたっておりません。引き続き，他市の事例を参考にし，検討していきたいと考えています。 なお，次年度は，女性が市議会を身近に感じられるような講座を開催できないか検討しているところです。</p>
5	資料3 「女性委 員登用率 未達成に 関する状 況調査一 覧」	意見		<p>第2次やちよ男女共同参画プラン令和5年度進捗状況報告書（案）ではなく，一緒に添付されていた資料の各種審議会等における女性委員登用率未達成に関する状況調査一覧について，意見を述べさせていただきます。 現在の状況と今後女性委員登用率を上げるための詳細な改善策が細かく分析されており，非常にわかりやすいと感じました。 また，改善策 C「市民公募委員の選考の際は，女性委員割合の目標値を踏まえ，女性を優先する旨を選考基準に入れる」については，アフーマティブ・アクション（積極的差別是正措置）を実施することになると考えられます。 アフーマティブ・アクションは重要な問題ですが，弊害として逆差別を生んでしまう可能性もあります。よって，逆差別にならないように意識しながら女性委員登用率を上げることを目指していくべきであると思いました。</p>	男女共同参画 センター	<p>男女共同参画が浸透してきたこともあり，各審議会所管課も女性の意見を取り入れる必要性を感じてはいますが，依頼団体先に女性がない等により，達成は難しい状況です。 一方で，積極的な女性登用が逆差別でないかというご意見は常にあり，改善策Cを取り入れた場合としても，実際の選考の際は，審議会の目的達成に見合った候補者であるかなどの点を考慮しながら進めていくよう働きかけをしていきたいと考えています。</p>

No.	参照資料	分類	ページ数 (参照箇所)	質問・意見	担当課	担当課意見
6	全体	要望		男女共同参画センターの事業はとても良いです。しかしながら、災害時に関しては、今まで女性の意見を取り入れているとは思えません。これからもっと女性の意見を取り入れるべきである。また、市レベルでは難しいですが、日本は女性の管理職や議員に関し、世界的に低位置にある現状を打開するためには、欧州での成功を挙げた手法を参考にし、まず、国会議員や都道府県議員の最低40%は女性に関する法案の成立がなければ何時までも低位置からの上昇は困難であると考えられます。八千代市が市職・市議会議員、そして市内企業に対し、女性登用40%達成を実現し、国内の先達になる事を私は望みます。	男女共同参画センター	災害時の避難所等で男女共同参画を進めるため、危機管理課と連携し、来年2月に女性向けの防災講座を開催予定です。 各分野における女性登用に関しまして、市職員については職員課が「女性活躍プラン」を策定し、女性管理職登用拡大を視野に、採用者における女性の割合増に取り組んでいます。また、当センターが昨年度行った商工会議所会員を対象とした事業所調査でも、平成30年度調査の結果と比較し、女性登用に対する意識の変化が見られました。市議会議員に関しましては、まずは、幅広い世代の女性に、議会を身近に感じてもらえるよう、関係機関と連携しながら進めたいと考えています。
7	全体	意見		図書館やサイト、「やちよ ペあ」での取組について ①男女共同参画をさまざまな側面からわかりやすく伝える工夫がされていると思います。こうした取り組みは成果がすぐに見えづらいですが、大切だと思います。 ②サイトの閲覧数はどれくらいでしょうか。もし少ないなら、若い世代向けがこうしたサイトを知る、アクセスするための工夫は必要かもしれません。	男女共同参画センター	①啓発につきましては継続した取組が必要だと考えています。広報やホームページだけではなく、関係部署と連携した取組のほか、地域情報紙も活用しながら、引き続き、分かりやすく伝えていけるよう工夫していきたいと考えています。 ②広報広聴課が毎月報告している「HP閲覧・ファイルダウンロード数（令和5年11月1日～11月30日）」によれば、ごみの出し方やコロナワクチン関係は1万件を超えています。上位500件の中に、当センターが所管するサイトが5件入っていました。当センター所管のサイトで最も多いものが「性のあり方はグラデーション」で454件、次が『コラム「私たちの心を動かした5人の女性～婦人参政権運動にかかわった女性たち」』で329件でした。
8	全体	意見		色々男女参画の活動を拝見させていただきました。なかなか私個人としても参加できていないのですが、女性消防団の団員が女性起業家の話を聞いたそうで、がんばっている女性たちに元気もらったし、自分も何かできないかと言っていました。 私の回りには自分の子育てが終わり、ボランティアや子育てが終わり、ボランティアや子育ての手伝い、子ども食堂などやってみたい！やれることはあるのか？と思う方々はたくさんいます。 でも、個人的にはどうしたらいいかわからないというのが本当のところなんです。そういう方々への声かけ、協力があるともっともっと良いことになるのでは、と思っています。実際何から始めたらいいのか一緒に考えていきたいです。よろしくお願いします。	男女共同参画センター	第2次やちよ男女共同参画プランに基づき、女性が様々な場面で生き生きと活動できるよう、関係機関と連携し、講演会・講座等を通じて情報提供をしていきたいと考えています。